

卒業アルバム

校長 畠山 真

四月も終わりに近づき、学校の周りにはサツキやハナミズキが咲きそろってきて、新緑の五月を迎えます。

四月は、なかよし登校で5・6年生の班長が1年生等の下学年の人たちをしっかりと並べて登校してきていました。さすがに高学年としての意識と自覚を感じました。16日には、航空写真の撮影があり、運動場に「もゆるん」の絵が描かれた線の所に1年生から6年生までエプロンを広げて立ち、飛行機から撮影されるのを地上の方の合図で行いました。この撮影には、50周年実行委員会の方々にも入っていただき、無事に一日で撮影を終えることができました。20日には、「一年生を迎える会」がありました。1年生は、少々緊張気味でしたが、会が始まって各学年からプレゼントをもらい、とてもうれしそうでした。1年生も全校児童の仲間入りを果たし、小学校生活に早く慣れて、楽しい生活をおくってほしいと思います。

さて、卒業アルバムは、今年度で50冊目を数えます。校長室には、本校の卒業アルバムが3冊（昭和49・54・61年度）を除いてすべて揃っています。昭和43年度の卒業アルバムは、表紙に山内小学校の校章が描かれ、ページを開けると当時の山内小の校舎と元石川分校の校舎の写真があり、山内小の二学級と元石川分校の一学級が載っています。翌年の昭和44年度の卒業アルバムの表紙は、美しが丘小学校の校章が描かれ、中を開くと校旗と当時の校長先生の写真と今の校舎が載っています。昭和50年度のアルバムから一部カラー写真が使われ、校舎と体育館とプールの写った写真と6クラスの児童が日光大猷院の前で撮った写真だけがカラーで、一人ひとりの写真は白黒で写っています。運動会は9月に行われ、棒倒しもあったようです。翌年のアルバムからは、卒業文集も入り、様々な変遷を経て、今日の形になっています。

そして、来年の3月に出される予定の卒業アルバムは、ついに50冊目を迎えます。これまでのアルバムの中には本校出身のお父さんやお母さんの写真や卒業文集も載っています。卒業アルバムが、美小のこの半世紀を築いてきた歴史でもあります。私も今までの美小のアルバムを開いて、これまでの美小のあゆみを感じ取ってきました。

一冊の卒業アルバムが、今までの歩んできた人生を思い出させてくれることもあります。数年前に、30歳になった暁にある小学校での卒業生の同級会を開いた時、中学校から北海道に転校した一人の男の子がザックの中から当時の卒業アルバムを取り出し、同級生や私に見せてくれました。このアルバムだけは、自分の宝物だと話していました。

一冊の卒業アルバムではあるけれども、いつまでも残るアルバムで一人ひとりの心の中に生き続けているのだなと改めて思いました。